

# 現役介護職員が語る、介護現場のあれこれ

主催 順正高等看護福祉専門学校



認知症で  
人生終わりになんて、  
僕がさせない。

## ケアニン

～あなたでよかった～

戸塚純貴 松本若菜 山崎 一/水野久美  
藤原令子 菜葉菜 小市慢太郎  
監督：鈴木浩介 主題歌：香川裕光「星降る夜に」

原案：エグゼクティブプロデューサー：山田美幸 プロデューサー：吉住美穂・金屋宏明・長田安正・柳瀬太郎 共同プロデューサー：小川明彦 特別協力：加藤忠順(あひけあ)  
脚本：藤村史也 音楽：湯藤 浩二 撮影：西村敏彦 照明：宮尾康史 美術：宮崎 聖昭 演出：藤高 重樹 編集：佐野由里子 技術プロデューサー：藤戸井正俊 監修：藤原真弥  
ラインプロデューサー：平山高志 介護指導：鈴木 貞 スタイリスト：田中トモコ 劇伴：野正和 ハーマイク：遠山由美  
特別協賛：UAEサンシャイン日本看護大学 ユニオン/東海福祉大学 株式会社アズバートナース/株式会社エス・エム・エス/株式会社長谷工シニアヘルシングス/株式会社デジタル・スタガード  
製作：「ケアニン」製作委員会(ワンダーラボラトリー/ライオン/コンテックサービス/プロビクチャーズ/ユナイテッドエンタテインメント/HORIZON/エイナムプラス)  
配給・宣伝：ユナイテッドエンタテインメント ©2017「ケアニン」製作委員会 2017年 日本 カラー/ステレオ/105分  
推薦：厚生労働省 神奈川県 文部科学省特別認定作品 後援：藤原市

[www.care-movie.com](http://www.care-movie.com)



参加費  
無料!!

日程：平成30年9月23日(日)  
会場：順正高等看護福祉専門学校  
看護棟5階  
時間：13:00～16:00  
(受付 12:30～)  
定員：岡山県内の高校生 40名

プログラム：13:10～14:50  
「ケアニン」上映会  
15:00～15:45  
卒業生講演  
専門学校1期生 柳井宋介  
専門学校5期生 船田智美  
15:45～16:00  
意見交換会

申込方法：電話、FAXまたはE-mailで  
お申し込みください。

<お問い合わせ先>  
学校法人 順正学園  
順正高等看護福祉専門学校  
介護福祉学科  
担当：椿  
〒716-8508  
岡山県高梁市伊賀町8  
Tel: 0866-22-8065  
Fax: 0866-22-0566  
E-mail: tsubaki@kiui.ac.jp

# ケアニン = 介護、看護、医療、リハビリなど、人の「ケア」に関わり、自らの仕事に誇りと愛情、情熱を持って働いている全ての人

「こんな仕事やってくれるか、どこにやりがいがあるんだ、どこが楽しんだ…ってか？」

「思っていないんですけど」

「えっ思わないの？ スゲエな。俺なんか新人の頃は毎日思っていたけどな。少しは思うだろ？」

「…まあ、少しは」

「人間だから当然だよ。こっちも人間なら、向こうも人間。感情もあればプライドもあるんだ」



「人のために仕事がしたい」「じいちゃん ばあちゃんが好きだから」そんな理由で介護の仕事を目指す若者を、私たちは「介護ってすてきだぞ」って迎えることができているだろうか？ 大森圭が誇りをもって働ける現場をつくろう！

株式会社あおいけあ  
代表取締役 加藤忠相

## 介護職員が30万人不足！

高齢化がピークを迎える2025年に(厚労省調べ)

“3K(きつい、汚い、危険)”のイメージが先行する介護の仕事は、肉体的にも精神的にも厳しい仕事です。しかしこれほど人と本音で向き合え、感動する仕事はないと長く介護に携わる人たちは胸を張ります。映画「ケアニン～あなたでよかった～」は、神奈川県藤沢市に実在する「おたがいさん(株式会社あおいけあ)」をはじめとする30ヶ所もの介護福祉施設や専門学校、関連団体に取材のご協力をいただき、シナリオを一つずつ積み上げていきました。この作品には介護という仕事を通して働くことの意味や、人と人、地域との繋がりの尊さが描かれており、この中で語られているセリフの一つ一つが全て実際の現場からとった生きた言葉なのです。そうした日々の介護現場で働く人たちの姿を追いかけていくうちに自然と、人生に前向きになれる心温まる感動のストーリーが出来上がりました。それが本作「ケアニン～あなたでよかった～」です。

「…経験を積むんだよ。それが身になる。現場に慣れて人間と向き合えるようになったら、圭も一人前のケアニンだ」



「けあにん…？」

「ケアする人間。介護福祉士って言うと堅くるしいじゃん」



認知症で人生終わりになって、僕がさせない――。

大森圭(男性・21)は新人の介護福祉士。高校卒業後、これとってやりたいことがなかった圭は、漠然とした理由で介護の専門学校へ入学。卒業後、圭が働くことになったのは、郊外にある小規模介護施設。高齢者たちと上手くコミュニケーションが取れず、悩む日々が続くなか、圭が初めてメインで担当することになったのは、認知症の星川敬子79歳。試行錯誤しながらも、先輩スタッフたちの協力もあり、少しずつ敬子との関係性を深めていく。「なんとなく」で始めた介護の仕事に、いつしか本気で向き合うようになっていく圭だったが…

平成30年岡山県福祉・介護人材参入促進事業  
現役介護職員が語る、介護現場のあれこれ  
●映画「ケアニン」上映会 ●卒業生講演 ●意見交換会



FAX送信の方は、ご記入のうえそのままお送りください。  
FAX：0866-22-0565

参加をご希望される方はお手数ですが、ご氏名・連絡先・高校名をご記入いただき、電話、FAXまたはE-mailにてお申し込みください。

参加者ご氏名	連絡先	高校名

参加者ご氏名	連絡先	高校名